

ジャパンSDGs静脈産業フォーラム セッション3

会宝産業株式会社
専務取締役 馬地克哉

海外での放置自動車の現状



海外への自動車リサイクル展開

2007年、国際自動車リサイクル研修センター（International Recycling Education Center）を設立し、自動車リサイクル技能者の育成や教育訓練を国内・海外向けに実施している。

IRECでは、下記3点に関する技術・ノウハウの提供を行っている。

- 自動車リサイクル技術研修
- KRAシステムの導入による経営管理支援
- 中古エンジンの品質評価規格

海外への研修実績：80名

2010.02.08 - 26	JICA中南米研修
2012.03.26 - 06.29	JICAナイジェリアBOPビジネス連携研修
2013.05.06 - 07.28	JICAナイジェリアの自動車リサイクルシステム構築研修
2013.07.14 - 26	JICAコンゴ民主共和国自動車リサイクル技術研修
2014.11.11 - 20	フィリピンの環境配慮自動車リサイクルシステム構築研修
2016.05.16 - 06.09	JICAブラジル自動車リサイクル教育施設及びリサイクルシステムの構築研修
2017.11.07 - 12.08	JICAマレーシアLEP2ELVリサイクル・法律構築研修





KRAシステムによる自動車部品生産工程

Kaiho Recycler's Alliance System



事例1. ブラジル

JICAより「ブラジル連邦共和国環境配慮型自動車リサイクルシステムの普及・実証事業」（2015年3月）を受託し、ブラジルのミナスジョライス州の国立工業技術専門学校内に、自動車リサイクル事業を行うパイロットプラントと研修センターを建設中。



事例2. マレーシア

マレーシアの自動車政策・管理行政を担う、MAI(Malaysia Automotive Institute)、自動車交通省、能力開発省、マラ工科大学から行政官・大学教授を招聘し、2017年から3年間の自動車リサイクル研修を行なっている。



事例3. インド

2018/02/09 (金)

15年経過の商用車、政府が廃車推進政策導入

インド政府は、製造から15年を超えた商用車の廃車を推進する政策の最終案をまとめている。対象の車両は2,800万台に上る見通しだ。ビジネス・スタンダード（電子版）が8日に伝えた。

ガドカリ道路交通・高速道路相は政策の内容について、車両をスクラップとして売却することで収入を得られる仕組みにするほか、新車購入時に割引を受けられるようにすると説明。割引については、物品・サービス税（GST）を審議するGST評議会の承認を得る必要があると述べた上で、同税の優遇措置という形を検討していると明らかにした。

同相はまた、新たな政策が大気汚染の軽減に加え、リサイクルを促進することで自動車部品業界のコスト低下にもつながると指摘。政策が実行された場合、同業界が22%成長するとの見通しを示した。

インドの車両保有台数は2016年3月末で、約230百万台に達する。（年間平均成長率は10%）
車齢が15年超の車両台数は、約55百万台（うち商用車は10%）と推計される。

